



## 地球温暖化とたたかうタイヤ。

今、人類がかかえる最も大きな課題のひとつ、地球温暖化問題。その解決に向けて、タイヤからできることはないだろうか。

住友ゴムは、7年の歳月をかけてひとつの答えを出しました。「ダンロップ・エナセーブ97」。石油外天然資源比率97%のタイヤです。

現在のタイヤのほとんどは、原材料の約60%を石油や石炭などの化石資源に依存しています。

「エナセーブ97」は、植物由来の天然素材を中心に、化石資源への依存率を3%にまで下げるといふ、まるでタイヤの歴史をさかのぼるような難題に挑戦。

それを実現すると同時に、タイヤと路面との摩擦をあらゆる「ころがり抵抗」を35%低減することにも成功しました。

その結果、つくるときに17%\*のCO<sub>2</sub>を削減できるのはもちろん、使うときにも33%\*、また廃棄するときには94%\*ものCO<sub>2</sub>を削減できるのです。

世界で初めて空気入りタイヤを生み出した私たちだからこそ、タイヤの未来を変えていく責任がある。

次は2013年、石油外天然資源比率100%のタイヤをめざして、私たちはすでに走り出しています。

(写真は、天然ゴムの原料となる樹液を採取しているところです。)

*for you, for the earth*

あなたのために、地球のために。